

赤外線非接触温度計

IR-FM

取扱説明書



V.1.0.20200917

このたびは赤外線非接触温度計「IR-FM」をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書を十分お読みください。

本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するため、本機の取扱説明書の内容を是非よく理解しお読みください。

1. 本書について

本紙に掲載された内容は製品及びバージョンによって変更される場合がございます。

記載事項は正確を期すべく細心のチェックが行われていますが、内容の正確性については保証致しかねます。本機のソフト面、ハード面、マニュアルは改善の為、予告なく変更する権利を有します。

また、本書に関する著作権等の知的財産権について、各会社、組織は所有します。

本紙内には本製品に付属しない製品の画像や用語も表記されている場合がございますが、

付属品については本紙やパッケージの付属品欄等に記載のあるもののみとなります。

他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

2. 保証について

本機の使用及及び落下、衝撃等が原因での不具合による、データ損失等の補償については責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償について責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。
- 本製品の保証期間は、購入から一年間となります。
- 本製品は一般家庭での使用を目的として製造された製品、民生用の製品です。

当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

< 恵安株式会社 サポートセンター >

メール: support@keian.co.jp

FAX: 03-3980-5327

製品情報についてはホームページでご覧いただけます。www.keian.co.jp/

商品のご注文: info@keian.co.jp

3. 同梱物の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

○温度計本体	1台
○一年間保証書	1枚
○取扱説明書(本書)	1部

4. 製品概要

本機は片手で操作可能な優れた赤外線非接触温度計です。非接触測定であるため、衛生的かつ簡単に温度測定を行うことができます。

物体の表面温度や室温計測する「オブジェクトモード」、粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適した、「ボディーモード」の2つのモードが搭載されており、食品、粉ミルク、室温、水温、床、カベ等、様々な温度が測定できます。

5. 製品の特長

- 非接触かつ素早い測定
- 計測結果を保存することができる自動メモリー機能。
最新の測定結果 32 回分を記録。
- 見やすいバックライト搭載大型液晶ディスプレイ
- 使わないと自動で電源がオフになる自動電源オフ機能
- 摂氏(°C)／華氏(°F)表示対応
- 摂氏と華氏表示ともに 0.1 単位での計測が可能

6. 安全上ならびに使用上の注意

- 本機を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。
- 本体や付属品に強い衝撃や振動を与えたり、加熱したり、水をかけたりしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 濡れた手で本機に触れたり、本機を濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 1.5V アルカリ単三乾電池以外は使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

- 毛布やじゅうたんなど静電気を帯びやすいものの近くや、テレビ、磁石、スピーカーボックスの近くなど強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 掃除をおこなう場合は必ず電源を切り、電池を抜いたあと、乾燥した柔らかい布で拭いてください。その際には化学薬品は使用しないでください。故障、発火、感電、変色の原因となります。
- 長期間使用しないときは、電池を抜いてください。発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本機に破損や故障がある場合は使用しないでください。ケガの原因となります。
- 電池交換の際は2本とも新しい同じ種類の電池を使用してください。
- 本機は湿度が80%以下かつ10°Cから40°Cまでの環境下で使用してください。
- 熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズ、その他お客様による物理破損は保証対象外となります。
- 本機は、表面温度を測定する製品であり、医療用の体温計ではありません。医療用途では使用しないでください。
- センサー部に手で触れたり、息を吹きかけたりしないでください。故障の原因や正しい測定結果が得られなくなる場合があります。
- センサー部が汚れた時は、ぬらしてきつく絞ったティッシュや綿棒などで軽く拭き取ってください。汚れにより正しい測定結果が得られなくなる場合があります。
- 本機を温度の高い、もしくは低い環境で保管している場合や室温の変化が激しい環境で使用する際は、測定結果が正確になるよう測定前に室温に10～20分ほど慣らしてから使用してください。
- 計測対象の素材や厚みなどにより、計測結果にばらつきが出る場合があります。

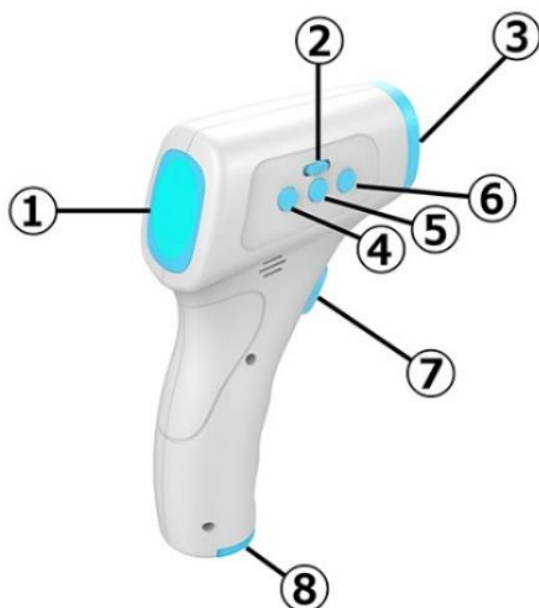
7. 製品仕様

測定範囲	0°C～80°C(32°F～176°F)
精度	約±0.2°C(±0.4°F)
最小目盛り	0.1 単位
測定距離	測定対象から1～5cm
動作環境温度	10～40°C
動作環境湿度	85%未満
自動電源オフタイマー	動作停止後約8秒後電源オフ
自動メモリー保存数	最大 32 回分
電源	1.5V アルカリ単三乾電池2本(別売り)
商品重量	約 100g(電池除く)
商品サイズ	約 154×96×42mm

※ 本機は18°Cから28°Cの環境下で最も精度が高くなります。

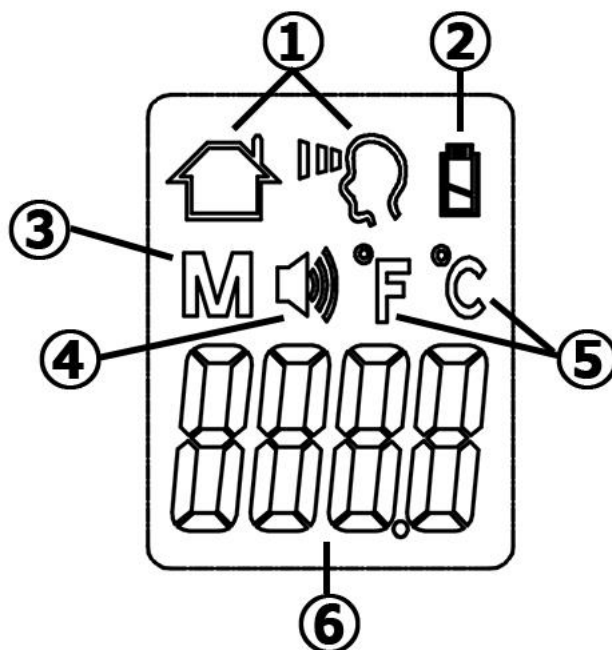
※ 充電電池は使用しないでください。

8. 各部説明



番号	名称	説明
①	ディスプレイ	測定結果や現在のモードなどを表示します。
②	モード選択 スイッチ	物体の表面温度や室温計測する「オブジェクトモード」と粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適した「ボディーモード」のモード切り替えができます。スイッチを左側に切り替えると「オブジェクトモード」、右側に切り替えると「ボディーモード」になります。
③	赤外線センサー	温度の測定を行うセンサーです。 測定時は、測定対象へ向けて1～5cmまで近づけてください。
④	SET ボタン	電源オン状態で長押しすることでセットアップメニューに切り替わります。
⑤	+ボタン	電源オン時に押すと、メモリーメニューに移行し、メモリーに保存されている温度の確認ができます。 また、電源オン時に長押しすることでメモリーを初期化することができます。 各メニュー内では次項目へ移動や値の増加ボタンとしても動作します。
⑥	-ボタン	電源オン時に押すと、メモリーメニューに移行し、メモリーに保存されている温度の確認ができます。 各メニュー内では前項目へ移動や値の減少ボタンとしても動作します。
⑦	測定ボタン	このボタンを押すと赤外線センサーで温度を測定します。 電源オフ状態でも、このボタンを押すことで自動的に電源が入り測定がおこなわれます。
⑧	電池挿入口	スライドさせることでフタが開き、1.5V アルカリ単三乾電池2本を挿入可能です。

9. ディスプレイ表示部説明



番号	名称	説明
①	モード表示	現在のモードの状態を表示します。 物体の表面温度や室温計測する「オブジェクトモード」なら家アイコン。 粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適した「ボディーモード」なら頭のアイコンを表示します。
②	バッテリー	電池残量を表示します。 電池が減ると右上に電池のマークが表示されます。
③	メモリーメニュー アイコン	メモリーメニュー表示中に点灯します。
④	アラームアイコン	計測時などに鳴るアラームがオンになっていると表示されます。 アラームがオフ(ミュート)になっていると表示は消えます。
⑤	温度単位アイコン	摂氏表示設定になっている場合は、「°C」 華氏表示設定になっている場合は「°F」が表示されます。
⑥	数値表示	測定温度の表示やメモリー番号表示などの数値を表示します。

10. 操作説明

1. 温度測定

A) 測定手順:

- 温度測定前に、1.5V アルカリ単三乾電池2本が電池挿入口に挿入されており、バッテリー残量が充分にあることを確認してください。
- ハンドルを握り、赤外線センサー部を測定対象物から1～5cm離れた状態で向けてください。
- 測定ボタンを押します。アラーム設定がオンの場合、測定完了後にアラームが鳴ります。

※ 注意: 室温の変化が激しい環境で使用する際は、測定結果が正確になるよう測定前に室温に10～20分ほど慣らしてから使用してください。

B) ボディーモード

- 粉ミルクや離乳食など人肌程度の温度計測に適したモードです。
- ボディーモード時は32℃から42.9℃までを測定可能です。
- 計測結果によってディスプレイの表示内容が変わります。

背景色	表示内容	説明
赤	Lo	計測結果が32℃未満のエラー表示
	Hi	計測結果が43℃以上のエラー表示
	38.6℃～42.9℃	人肌温度に対して高温です。
黄	37.5℃～38.5℃	人肌温度に対して若干熱めです。
緑	32.0℃～37.4℃	人肌程度の温度です。

※ アラーム ON 時背景色が赤くなる測定結果となった場合、アラームが3回鳴ります。

C) オブジェクトモード

- 物体の表面温度や室温計測するのに適したモードです。
- オブジェクトモード時は0℃から80℃までを測定可能です。
- 計測結果によってディスプレイの表示内容が変わります。

背景色	表示内容	説明
赤	Hi	測定結果が80℃超過のエラー表示
	Lo	測定結果が0℃未満のエラー表示
緑	0℃～80℃	測定範囲内の温度が表示されます。

※ アラーム ON 時背景色が赤くなる測定結果となった場合、アラームが3回鳴ります。

2. その他機能説明

A) 自動メモリー機能

- 計測結果を最新 32 回分自動記録します。
- 記録を閲覧する際は、電源 ON 時に「+ボタン」か「-ボタン」を押すとディスプレイ部に「M (メモリーメニューアイコン)」が表示され、さらに「+ボタン」か「-ボタン」を押して 1～32 までの番号に合わせて、記録した温度が表示されます。
1 番が最新の計測データで、32 番に進むにつれて古い計測データになります。
- 電源が入った状態で「+ボタン」を長押しすると、メモリーを初期化できます。

B) セットアップメニュー

- 電源が入った状態で「SET ボタン」を長押しすることでセットアップメニューに切り替わります。切り替わると「F1」と表示され、そこから「SET ボタン」を押すごとに「F4」まで進みます。「F4」メニュー表示中に再度 SET ボタンを押すことでセットアップメニューを終了します。
- ディスプレイに「F1」～「F4」が表示されている状態で、「+ボタン」か「-ボタン」を押すとそのメニューの設定を変更することができます。変更後に「SET ボタン」を押すと設定を確定します。

表示	メニュー内容	説明
F1	摂氏(°C)／華氏(°F)表示切替	摂氏(°C)／華氏(°F)表示設定を変更します。
F2	(効果なし)	本設定項目は変更しても効果がありません。
F3	温度補正設定	計測結果のズレなどを補正設定ができます。 -1.6～1.6 の間で設定する事ができ、設定した数値分測定結果を補正します。
F4	アラーム設定	計測時などに鳴るアラームのオン・オフを切り替えます。

11. 電池の取付・交換方法

始めて本機を使う際や電池残量が少なくなるときは、電池交換が必要です。

1.5V アルカリ単三乾電池2本(別売り)を用意して、下記の手順で取付・交換をおこなってください。

※ 充電電池は使用しないでください。

1. 本機底部の電池挿入口のフタをフタに表示されている矢印の方向へスライドし、ロックを外すとフタが開きます。
2. フタの裏に記載されている+/-マークを参考に、1.5V アルカリ単三乾電池2本を正しい向きで挿入します。
3. フタを引き出した状態で被せ、開けた時と逆の方向へスライドし、フタがロックされたら完了です。

注意:

手順3の時、必ずフタが測定ボタン側に引き出された状態で電池挿入口に被せてください。

ロックするツメが破損する恐れがあります。

12. よくある質問

1. 液晶ディスプレイに「Lo」または「Hi」と表示され、温度が表示されない。
(ア) 測定対象物の温度が、本機の測定可能温度範囲を超えているか下回っています。
[10.操作説明]を参照して、測定対象に合ったモードか確認してください。
2. 測定した温度が実際の温度とずれている。
(ア) 測定対象に合ったモードが選択されているか確認してください。
(イ) 測定対象と本機のセンサーとの距離が1～5cmあるか確認してください。距離が適切でないと測定結果が正確に測定することができません。
(ウ) 測定対象と本機のセンサーとの間に煙や霧、粉塵などの障害物がある場合、正しく測定できません。障害物がない場所で測定してください。
(エ) 測定対象物のサイズが小さい場合、対象物の周囲まで計測してしまい正確な測定が行われていない場合があります。対象物の面積が広い場所を測定してください。
(オ) 本製品は一般家庭での使用を目的として製造された製品、民生用の製品です。計測対象の素材や厚みなどにより、計測結果にばらつきが出る場合があります。
(カ) 研磨された金属など反射率の高い物体は放射温度計では正しく測定できない場合があります。
(キ) 本機を温度の高い、もしくは低い環境で保管している場合や室温の変化が激しい環境で使用の際は、測定結果が正確になるよう測定前に室温に10～20分ほど慣らしてから使用してください。
(ク) センサー部が汚れている場合があります。汚れている場合は、ぬらしてきつく絞ったティッシュや綿棒などで軽く拭き取ってください。汚れにより正しい測定結果が得られなくなる場合があります。ただし、力を入れすぎるとセンサーが故障する原因となりますので、ご注意ください。